

特集 ③

市民全員が 観光ガイド



松山観光ボランティアガイドの会 会長 大西 修史 (松山市)

■ 松山観光ボランティアガイドって？

平成19年に結成された今年で8年目に入る総勢160名からなる松山市観光のボランティアガイドです。

■ どこをガイド？

道後温泉および周辺地域、松山城、坂の上の雲ミュージアムを拠点としたまち歩き3拠点に常駐(年末、年始を除く)

て)しています。

・道後温泉および周辺地域

改築120年を迎えた道後温泉本館に因んで開催されている温泉とアートを組み合わせた「オンセナート2014」や四国巡礼八十八か所開創1200年となることからの五十一番札所石手寺なども守備範囲です。

・松山城

ご存知現存天守(江戸時代以前に築城された天守を持つ)12城の内のお城のひとつであり、市内のどこからでも眺めることができる松山のシンボルの存在です。

・坂の上の雲ミュージアムを拠点としたまち歩き

・萬翠荘と子規・漱石ゆかりの地めぐりは、愛松亭(漱石が最初に下宿)跡から萬翠荘(お殿様の子孫の別邸…重要文化財)、愚陀佛庵(漱石と子規が50日余り同居生活)跡をめぐるコースです。

・愛媛県庁(日本で3番目に古い現役の庁舎)と城山公園、二ノ丸史跡庭園(恋



道後温泉坊ちゃんカラクリ時計にて



道後温泉本館にて

人の聖地)をめぐれるコースです。

これ以外にJR四国との連携で、JR松山駅からの車窓ガイド(伊予鉄電車内で案内)として道後温泉湯・遊コース(毎週土曜日)、観光列車「伊予灘ものがたり」(土・日・祝日)や駅からウォーク(年間5回程度)があります。

■ えっ！こんなところも？

ロシア兵墓地と一草庵コースは、城北の寺町とロシア兵墓地(日露戦争で捕虜となつて松山で亡くなったロシア兵)、一草庵(種田山頭火の終焉の地)をめぐるコース。

正岡子規の生い立ちコースは、正岡子規誕生邸跡、生い立ちの家跡、母堂・令妹住居跡、子規堂(正宗寺)をめぐるコース。

秋山兄弟と子規・漱石の城下町コースは、秋山兄弟生誕地から子規・漱石のゆかりの地をめぐるコース。

松山城にて



「おもてなし日本一のまち松山」の観光ガイドとして、お客様に「また来るよ」と言われる案内は勿論のこと、公民館、小学校の総合学習、自分の活動しているサークル等を通じて、松山市民の誰でもが松山の観光について案内できるように、また、お客様が写真を撮っていたらシャッターを押しましょうか？地図を見ているなら一声かける、坊っちゃん列車が走っていたら手を振るなど簡単にできることから実践しています。

しかしながら、ガイドの高齢化（平均年齢70歳？）は避けられず、動きが鈍くなっている現状は如何ともしがたく、新規に活動できる（特に若い）人々を増やす必要に迫られています。

この会も結成されて8年目になります。松山が、まだまだ発展途上でありま

誰でもが観光ガイド

市の今年度当初予算「幸せを実現できる松山をめざして」の三本柱のトップに「観光の振興」が謳われています。また愛媛新聞には昨年の松山市



愛媛県庁にて

を訪れた観光客は564万人（対前年2.2%増）と発表されており、今年の目標は600万人超えとのこと。です。

「おもてなし日本一のまち松山」の観光に携わる我々ガイドとしては、益々研修に励みお客様に満足していただき、また松山へきていただくよう「やる気」「根気」「元氣」で走り続けます。

ガイドとして活動するには？

ふるさとふれあい塾（松山大学との連携による市民公開講座）が毎年10月から12月まで開講されており、講座終了後、ガイド登録していただくのが、もつとも手っ取り早い方法です。

皆さん！観光ガイドを利用するのは勿論ですが、自分もガイドとして、活動を始めませんか？

終わりに

最後にお客様からのお便りをご紹介します

て閉じたいと思います。ありがとうございました。

〇〇様

先日は松山城にてガイドをして頂いた者です。その節は楽しく、また、勉強になるお話をお聞かせ頂き感謝と感激で一杯です。旅は出会いたとつくづく思います。その土地の空気、食べもの、時間、歴史・・・そして何よりも素敵な人との出会いは最高です。〇〇さんとの出会いは私たちを一瞬にして松山のファンに仕立てられました。松山を愛し、歴史を愛し、そしてご高齢にも関わらず「すっすつ」と歩かれる〇〇さんを通じて私たちも松山のファンを作ります。



やる気満々のメンバー達

★松山観光ボランティアガイドの会のホームページ <http://www.matsuyama-guide.jp/>